

下京区マップ 西部編

- 凡 例**
- ✕ = 警察署・交番
 - 〒 = 郵便局
 - = 公共施設
 - WC = 公衆トイレ
 - WC = 公園内トイレ
 - = 付近観光案内図
- 各問い合わせ先**
- 観光案内所 ☎075-343-6655
 - 市バス地下鉄案内所(京都駅前) ☎075-371-4474
 - JR東海テレフォンセンター ☎050-3772-3910
 - JR西日本お客様センター ☎0570-00-2486
 - JR西日本京都忘れ物センター ☎075-371-0134



光縁寺



綾小路通大宮西入
 ●拝観時間 9:00~17:00
 ●供養料 100円
 ☎075-811-0883

慶長18(1613)年頃創建された浄土宗の寺。幕末、新撰組の副長山南敬介は、山門の瓦に「丸に右離れ三つ葉立葵」の山南家と同じ紋を見つけ、住職の良誉上人との親交が生まれた。上人は、門前に置かれた困窮した人の亡骸を弔うなど慈悲深く、慶応2(1866)年2月に組を脱走し切腹させられた山南自身を含め、多くの隊士が上人に弔われ同寺に埋葬された。

京都市伝統産業振興館 四条京町家



四条通西洞院東入
 ●開館時間 10:00~21:00
 ●休館日 水曜日
 ●入館料 無料
 ☎075-213-0350

明治43(1910)年に町家を修復して建てられた、慎ましやかで豊かな京都の伝統的な暮らしと、それらを支えてきた伝統的な工芸品の良さを体感できる施設。間口が狭く奥行きが深いため、うなぎの寝床といわれる京都の町家。京都の気候に合わせた、その特徴的な家造りの工夫が見学できるほか、京都の伝統工芸や文化の良さが味わえる展示や催しなどが随時開催されている。

角屋もてなしの文化美術館



西新屋敷揚屋町
 ●開館時間 10:00~16:00
 ●休館日 月曜(祝日の場合は翌日)、12月16日~3月14日、7月19日~9月14日
 ●入館料 大人1,000円、中・高校生800円、小学生500円
 ※建物の公開は1階のみ。2階は別途予約と料金が必要。
 ☎075-351-0024

寛永18(1641)年に島原が開設された当初から開業していた揚屋(あげや)で、現在でいう料亭。建物は、揚屋建築の唯一の遺構として国の重要文化財に指定されている。歌舞音楽を伴う遊宴の町として発展した島原では、「島原俳壇」が形成されるほど文芸活動が盛んであった。当館では、建物と併せて、江戸期の和歌や俳諧の資料のほか、美術品、調度品などが公開・展示されている。

風俗博物館



新花屋町通堀川東入(井筒法衣店5階)
 ●開館時間 9:00~17:00
 ●休館日 日曜、祝日、年末年始、8月13~17日、6月・12月(展示替えのため)
 ●入館料 大人400円、高・大学生300円、小・中学生200円
 ☎075-342-5345

『源氏物語』の舞台である六條院の「春の御殿(はるのおとど)」を1/4スケールで製作。寝殿造りの館の中には、様々な装束を身につけた人形により、光源氏や紫上などの登場人物が配され、調度品なども配置。いずれも時代考証に基づいて丁寧に再現されたものばかりであり、『源氏物語』の世界を通して、平安貴族の生活をリアルに体感できる博物館である。

梅小路蒸気機関車館



梅小路公園内
 ●開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
 ●休館日 月曜日(祝日及び3月25日~4月7日、7月21日~8月31日の期間は開館)及び年末年始(12月29日~1月3日)、ただし月曜日が祝日・休日の場合翌火曜日(平日)が休館日
 ☎075-314-2996

昭和47(1972)年に日本の鉄道開業100周年を記念し、貴重な交通文化財である蒸気機関車を末永く後世に伝えるために、博物館として誕生。扇形車庫に勢ぞろいする蒸気機関車(SL)や、SLがダイナミックに向きを変える転車台、線路を勇壮に走るSLスチーム号のほか、明治の雰囲気の色濃くもし出す旧二条駅舎を活用した資料展示館では、SLの知識がいっぱい詰まった展示品が並ぶなど、日本の鉄道の歴史と鉄道文化の広がりを実際に体験し、学べる博物館である。

栗嶋堂 宗徳寺



岩上通堀小路上る
 ●拝観時間 9:00~17:30
 ●拝観料 無料
 ☎075-371-2332

宗徳寺は、応永年間(1394~1428)に行阿(ぎょうあ)上人により創建。境内の栗嶋堂は、宝徳年間(1449~1452)に南慶(なんけい)和尚が、紀伊国の淡島から栗嶋明神を勧請して上洛の途中、急に御神体が重くなったことからこの地に祀ったと伝わる。古来より女性一生の守り神、特に婦人病平癒の神様として信仰を集め、与謝蕪村(よさぶそん)が娘の病氣平癒に参拝したおり、お百度参りをする女性の姿を詠んだという句碑も建っている。

若一神社



西大路通八条上る
 ●拝観料 無料
 ☎075-313-8928

平安時代の末期、平清盛がこの地に建てた別邸「西八条殿」の鎮守社が起源と伝わる。仁安元(1166)年、清盛が熊野詣の際に神託を受け、邸内に埋もれていた若一王子の御神体を探して祀ったところ、翌年に太政大臣へ出世したということから、開運出世の社として崇められる。境内に湧く神供水(じんぐすい)には、毎日多くの人々が水を汲みに訪れる。また、社前の楠の大樹は、清盛の手植えと伝わる。

円光寺



御前通八条上る
 ●拝観料 無料
 ☎075-313-3868

平安時代中期、陰陽道・天文道の達人として活躍した安倍晴明を祖とする安倍氏一派で、江戸時代には陰陽道を独占的に支配して天社神道を成立させた土御門家の屋敷があった所。現在では、天文観測器(渾天儀)の台石が庭の中央に残るのみである。なお、同寺は戦後、堀川通の拡幅工事により七条堀川付近からこの地に移転してきたものである。

西川油店 資料館



油小路通七条下ル
 ●開館時間 9:00~18:00
 ●入館料 無料
 ☎075-343-0733

天保6(1835)年、油小路通り油小路町において、製造から卸、小売まで、幅広く営む搾油業として創業した油専門店が、現在、油を販売する傍ら、業種を圧縮する道具、油売りの桶など国内でも珍しい貴重な道具を保存・展示し、油造りの歴史を今に伝えている。大正9年まで、作業場で菜種油を搾っていたといい、現在その風景は見られないものの、油の染み込んだ、六十点以上に及ぶかつての道具類にその名残を感じ取ることができる。

